

平成27年度第1回草津市健康づくり推進協議会会議録		
日時	平成27年8月27日(木) 午後1時30分～午後3時30分	
会場	草津市役所 4階 行政委員会室	
出席者	委員	樋上雅一会長、横井正之副会長、高橋新次郎委員、福山秋文委員、田邊美代子委員、草川愛委員、高嶋直敬委員、寺尾敦史委員、深田圭一委員、垣根和子委員、田中修三委員、太田光則委員、樋口弘子委員、卯田正明委員、馬場美由紀委員、山本正行委員、塩冶崇委員、高橋桂二委員、喜田久子委員〔計19名、順不同〕
	事務局	健康福祉部長・太田ひろみ、健康福祉部副部長・小川薫子、健康増進課長・田中みどり、同課副参事・舟木朋宏、同課副参事・松尾晶子、同課副参事・藪田祐子、同課専門員・田附友可里、同課専門員・山岡道子、同課主事・朝田陽子
	関係人	健康増進計画推進部会・中嶋康彦部会長
	関係課	生活安心課、農林水産課、社会福祉課、長寿いきがい課、保険年金課、子ども子育て推進室、幼児課、スポーツ保健課、学校給食センター
欠席者	田畑泉委員	
会議資料	別添のとおり	

1. 開会

太田部長挨拶

皆様、こんにちは。委員の皆様には大変お忙しい中、第1回目となります平成27年度の健康づくり推進協議会にご出席いただきましてありがとうございます。また、日ごろは本市の保健衛生行政の推進に大変お世話になっておりますことに、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

本市におきましては、平成25年度に今までの評価や課題について協議いたしまして、「健康くさつ21(第2次)」および「第2次食育推進計画」、そして「草津市自殺対策行動計画」を策定しております。それらの計画に基づきまして、色々な健康づくりの取り組みを健康福祉部だけではなく、庁内の関係課や関係機関の皆様方と進めてきているところでございます。今日の会議におきましては、こうした事業につきまして、先日ご協議いただきました健康増進計画推進部会と草津市自殺対策推進会議からご報告をいただきまして、健康づくりの推進に関しましてご協議をいただきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、日ごろから、普段取り組んでおられます活動等もお聞かせいただきながら、忌憚のない御意見や御提言をいただきたいと思っております。

今後とも皆様方のより一層の御支援と御協力をお願いいたしまして、大変簡単ではござ

いますが、開会にあたりましての御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

2. 草津市健康づくり推進協議会設置条例、施行規則および会議の位置づけについて
資料2-1、2-2、2-3に基づき、事務局より説明を行う。

3. 部会長・会長の選出

当協議会設置条例施行規則第2条の規定を準用する第7条の規定に基づき、会長に樋上
雅一氏、副会長に横井正之氏が選出された。

4. 計画の概要について

(1)「健康くさつ21(第2次)」

(2)「第2次草津市食育推進計画」

(3)草津市自殺対策行動計画

資料3、4、5に基づき、事務局より説明を行う。

〔 会 長 〕 ただいまの説明につきまして、ご質問はございますでしょうか。

〔 委 員 〕 「健康くさつ21」の概要版に掲載されている数値目標は実態をどれくらい
の頻度でどのように把握されているのかお伺いしたいです。本当にその目標
に対して適切な方向に向いているのかどうか毎年把握することは難しいと
思いますが、目標に近付いているかどうか把握するべきだと思います。

〔 事 務 局 〕 データにつきましては、本編の計画書の方に出典を明記させていただいて
いるのですが、主に県で実施されている滋賀の健康・栄養マップ調査や県の
事業年報、草津市で行っている健診の結果データ、各関係機関が持っている
データ等、合計18ほどの出典からとらせていただいています。これらにつ
きましては計画策定時に直近のデータということで、当初の現状というところ
に数値をあげております。10年の計画ですが、平成29年には中間評価
として、どれくらい達成できているのか数値で評価することにして
います。また、毎年数値として評価することは難しい面がありますので、その間の年
につきましては進捗管理の方法で、どのように事業を進めてきたかというところ
をあげさせていただく予定をしております。

〔 委 員 〕 概要版の現状の数値は第2次をスタートするときの現状の数値というこ
とで、いいのですよね。第2次をスタートするときにはこのような現状の数
値で、第2次が終わったときには、目標値に達していることを目指してお
られるのですね。

〔 事 務 局 〕 そうです。

〔 会 長 〕 他に御質問ございませんか。また何かあれば最後の方にも御質問いた
だければと思います。

5. 議題

1) くさつヘルスアッププロジェクト

〔 会 長 〕 それでは次第6議題1に移りたいと思います。今回の協議会では過日開催されました健康増進計画推進部会の報告を受け、市民の健康の維持および増進に関する事項を協議する場になっております。次第6議題1くさつヘルスアッププロジェクト事業について、健康増進計画推進部会における報告より協議してまいりたいと思います。健康増進計画推進部会の部会長から報告をお願いいたします。

〔 部 会 長 〕 8月4日に開催いたしました健康増進計画推進部会のご報告をさせていただきます。健康くさつ21および食育推進計画に沿った事業について、事務局からのご報告をいただきまして、部会で協議・議論いたしました。まず、各種がん検診、栄養相談、生活習慣病相談についてですが、受診者や相談者数が少なく、増加に向けた積極的な啓発や周知活動が必要であるという意見が出ておりました。次に、糖尿病対策についてであります。草津市は特定健診における糖尿病の検査データでの有所見率が滋賀県平均と比べて高く、また、腎不全にかかる医療費の割合が突出して多いというデータがあり、原因はよく分かっていませんが、夜間透析も含め透析のできる医療機関が複数あって、そういう環境があり、草津市に転入されるケースがあるということもお聞きし、手厚い医療が受けられるということが、腎不全にかかる医療費の割合が多い原因の一つではないかとの報告もありました。また、糖尿病予防において、健康推進員の地域に密着した地道な活動は、予防活動において大変重要な役割を果たしておられるということなので、193名おられる健康推進員を増員していくことも大変大切ではないかとの御意見をいただきました。次に、くさつヘルスアッププロジェクト事業についてですが、先ほど事務局から説明がありましたとおり、昨年度に引き続いて大型商業施設のスペースをお借りして、食と運動のヘルスチェックデーや市の施設においてヘルスアップ料理教室等を開催する予定であり、自身の健康状態を見つめなおして、生活習慣の改善と生活習慣病の予防につなげていこうとするものであります。今後もこのプロジェクトを進めるにあたり、部会の中でもいかに広く周知していくかということに関するさらなる検討が必要であるという意見をいただきました。また、今後の事業展開をしていくうえでの課題といたしまして、第一にいかに地域を巻き込むかということ、第二に健康に無関心な層へどのようにして広げていくかということ、第三に活動をいかに継続していくか、第四に行動変容させるにはどうすればよいのかということが、今後の課題と考えております。今後の展開、改善点の参考にできればと考えておりますので、委員の皆様の忌憚のない御意見を頂戴したいと思います。

〔 会 長 〕 それでは、ただいまの報告につきまして、御質問・御意見はございますか。

〔 委 員 〕 昨年度の実績報告がありましたとおり食と運動のヘルスチェックデーはイ

オンモールで実施され、アンケートもとられたということですが、イオンモールでアンケートをとると草津市民よりも草津市以外の方が多いのではないかと思います。データは草津市以外の方を除いて集積されているのでしょうか。

〔事務局〕アンケートは市外の方も含めて集積しています。

〔委員〕もしかしたら草津市民の回答率は半分以下かもしれないですね。

〔部会長〕今年はエイスクエアでも実施されますよね。

〔委員〕エイスクエアは草津市民が多いと思いますが、イオンモールの方は意外と草津市民が少ないですね。

〔部会長〕部会ではイオンモールは遠くて行けないという意見もありました。

〔委員〕草津市民にターゲットをあててと書いていますので、会場も検討してください。

〔会長〕ホテルのヘルシーランチは今年度も実施されるのでしょうか。

〔事務局〕今年度は実施いたしません。

〔会長〕実施しないことには理由があるのですか。

〔事務局〕モデル的に進めたということとホテルさんの負担が大きかったということから総合的に判断した結果、今年度は実施しておりません。

〔会長〕ホテルのヘルシーランチを食べた方にアンケートはとられましたか。

〔事務局〕アンケートはとっていません。

〔委員〕まず、先ほどの報告の中にもあったのですが、このような事業を多くの方に周知することは難しく、検討課題が多いと思います。現時点で市民さんへの周知について、何か新しいアイデアがあるのかというのが1点です。次に、無関心層の方や若い方をターゲットにされているので、イオンモールやエイスクエアを会場に選ばれていると思うのですが、地域のイベントと組み合わせたり、地域の中で実際に動いてらっしゃる方と地元密着のようなかたちで動いたりすることはできないのかという気もするのですが、その辺はいかがでしょうか。

〔事務局〕啓発方法につきましては、従来ですと、HPや広報くさつへの掲載、チラシ・ポスター等の掲示をしていたのですが、今年度はターゲットである若い方に来ていただくために、乳幼児健診でPRをさせていただいたり、市のFacebookのように若い方が見られるような媒体を使ったりして啓発していきたいと思っています。地域に密着したかたちでの実施についてはまだ2年目で模索段階ということもあり、やがては地域で特色のあるものと合体させてできればいいと思っていますが、まだそこまではできていません。

〔副会長〕薬剤師会ですけれども、啓発活動は薬局もありますので、ご相談していただければ、店頭でポスターを掲示することができると思います。「薬と健康

の週間」のイベントを10月にやっていますので、そのときに一緒にPRすることもできます。

〔事務局〕ありがとうございます。

〔会長〕他にありませんか。

〔委員〕アンケートの回答者の男女の比率はどうか。

〔事務局〕回答率は女性の方がやや上回っております。世代によって少しばらつきがありますが、回答率総計で見ると男性が26.1%、女性は29.3%でした。

〔会長〕国保の特定健診は毎年1年分のデータが送られてきますよね。今年は正常値でも5年前に比べてかなり上がっていたというように、時系列的な問題が大事だと思いますが、特定健診は5年分のデータを時系列に流すことはできないのでしょうか。

〔保険年金課〕滋賀県内の医師会と特定健診の委託契約をさせてもらっており、特定健診のデータを3年ぐらい経年比較できるように調整を進めています。

〔会長〕将来的には見られるようになるかもしれないということですね。

〔保険年金課〕将来的にはその方向で検討しています。

〔会長〕分かりました。

〔委員〕笠縫東学区では社会福祉協議会のサロンを各町内で開いています。その中で健康推進員さんに食生活や健康推進の話をしていただいているのですが、健康推進員さんは他にどういう活動をされているのでしょうか。

〔委員〕地域や学区によって違うのですが、サロンに行かせていただいている、料理講習や講演、体操をしているということは聞いていますので、ぜひ健康推進員を使ってください。

〔委員〕健康推進員さんの事業に参加させていただくと、簡単なレシピの紹介や健康に関する食物について、皆に分かりやすい教え方をしていただけるので、ありがたいなと思います。私どもの学区で健康づくりを推進していくにあたり、輪に入っていただきたいと思っていますので、これからもよろしくをお願いします。

〔委員〕健康推進員さんはすごく頑張ってくださいっていて、地域の広報に活動の予告を載せられています。

〔委員〕予告もしているのですが、料理講習した結果をすぐ地域の広報に報告させていただいています。それぞれの学区に個性や特色があり、やり方はまた違うかもしれないのですが、基本は自分たちの健康を守るために、地域の皆様のために活動させていただいています。少しでも皆さんの手助けになればと思っています。

〔委員〕広報は基本的に住民票がないと配ってもらえないのでしょうか。

〔事務局〕町内の方から戸数を報告いただいて、配らせていただいておりますが、例えば集合住宅の場合に一つとしてカウントされて、回覧をされているところもありますし、一軒一軒町内会費をいただいて、お配りさせていただいているところもあります。事業所さんがどのようにカウントされているのかは町によって違います。

〔委員〕こちらから欲しいと言っても配ってもらえるわけではないですね。

〔委員〕市の広報を直接配るのは町内会に加入をしてもらっている所帯と事業所です。まちづくり協働課でまとめて、町内会長から配られます。それ以外は、その都度市民センターに欲しいと言いにいけばもらえると思います。

〔委員〕分かりました。

〔会長〕報告は以上でよろしいでしょうか。

〔部会長〕貴重な御意見ありがとうございました。皆さんの御意見を参考に計画を推進してまいりますので、よろしくをお願いします。

2) 草津市自殺対策推進について

〔会長〕つづきまして、議題2 草津市自殺対策について、草津市自殺対策推進会議における報告より協議してまいりたいと思います。

資料7に基づき事務局より説明を行う。

〔会長〕ただ今の報告につきまして、御質問はございませんでしょうか。

〔委員〕子どもさんの発達を見ていて通報もあると思うのですが、子育て支援センターに来られる親御さんで、すごく気になる方がいらっしゃる時、自己申告ではなく第三者が相談させていただいてもよろしいですか。

〔事務局〕健康増進課に相談することの了解が得にくい場合もご連絡いただけましたら、こういった形でその方と関われるのかを一緒にご相談させていただきますので、健康増進課にご連絡いただくとありがたいです。

〔委員〕民生委員の立場もそこが一番分かりづらくて、情報が入らないと、訪問はできないですが、見守りをしながら色々な地域の情報を入れることはしています。やはり気がかりな場合は市の支援の担当者にお声をかけて、訪問を許された場合でも、いきなり民生委員ですという行き方はできませんので、市の職員さんとともに入ったこともあります。本当に難しいですね。

〔委員〕園に来てくださる方は接しやすいですが、見えないところで苦しんでいる方を支援することも難しいです。

〔委員〕お母さんにお友達関係が少しでもあるといいですが。

〔事務局〕先日職員向けのゲートキーパー研修で、ロールプレイをさせていただいて、しんどい思いを抱えていらっしゃる方も、この人なら話を聞いてくれるということが伝われば、それが初対面の方であっても親しい方であっても気持ちを打ち明けることで救われるというような体験をさせていただきました。難

しいですが、気になる方がいらっしゃったら、勇気を持って声をかけていただくきっかけになればと思い、毎年研修をさせてもらっています。

〔 委 員 〕 実際には若いお母さんに限らず、一人で抱え込まれている方がいらっしゃいますので、傾聴に徹するということはとても大切なことですね。

〔 委 員 〕 数年前に外国の方が健康問題で悩んで亡くなったケースが近くにありまして、このリーフレットには外国の方に関わることは何にも載ってないですが、外国の方であっても相談は受けられるのですか。

〔 事 務 局 〕 言葉や文化の違いで孤立して、その中で子育てされている外国の方もいらっしゃいますので、等しく支援や訪問をさせてもらっています。

〔 委 員 〕 草津市民でなくても相談できますか。

〔 事 務 局 〕 言葉の問題もありますし、パンフレットにもそういった外国の方々の相談窓口を掲げられていないので、外国の方が相談されるケースは少ないと思います。

〔 委 員 〕 行政がどこまで関われるのかは難しい問題ですが、大切なことですね。ご本人もおつらいでしょうが、遺された方もつらいものです。

〔 事 務 局 〕 色々な問題を抱えておられる方が自殺までに至るまでにどこかでご相談していただけたらという思いでリーフレットを発行しています。どのような相談をされるかは分からないので、どんな相談でも受けられますということで、色々な相談窓口を載せております。この中でご自身が該当されるところに連絡をしていただいたら、相談をお聞きした相談者が他のところにつながりこともできます。先ほどからおっしゃっていただいたように、外国の方のご相談ができるものがあれば、ご相談いただけると思いますので、少し検討していきたいと思います。このリーフレットも、できるだけたくさんの方に見ていただきたいと思っていますが、会議の中でもまだ広く市民の皆さんのところまでは届いていないというお話がありました。市民の皆さんへの周知にも御協力をいただければありがたく思います。

〔 委 員 〕 市民センターの窓口によく行きますが見たことないですね。

〔 事 務 局 〕 これにつきましては全戸配布ではなく、町内会の方で回覧させていただいています。

〔 委 員 〕 このデータの中で10代の自殺者はゼロですか。相談システムがあるということは非常にありがたいことだとは思いますが、学校現場では相談を受けるより先に気づくということが大切だと思うのですが、子どもたちの様子を見ながら変化を探っていかなければなりません。その中で学校としても、先ほど民生委員さんが支援に入るのに難しさがあるとお話がありましたが、学校も色々気づいて入る難しさもありますし、各機関との連携が非常に大切だと思います。特に若い子どもたちに対しては、保護者の方も悩んでい

の方が多いので、力を入れていく必要があると強く思います。

〔 委 員 〕 悩んでいる方は自分では言えませんし、学校や保育園の先生から代わりに言ってもらえるということも書いてくだされば、言いやすいかもしれないですね。どうしたら窓口へ通じるのかなと思っておられるかもしれません。

〔 会 長 〕 たくさん窓口があって困るという気もしなくもないですし、窓口を一本化してもいいと思います。実際に電話での相談はどれぐらいありますか。

〔 事 務 局 〕 健康増進課に寄せられた心の相談に関する電話相談が年間で600件、それに関する訪問が400件です。内容的には経済的なこと、病気、就労、家族、生活関係、様々です。

〔 会 長 〕 貴重な御意見ありがとうございました。皆さんの意見を参考に事業展開を図っていただきたいと思います。

6. その他

〔 会 長 〕 それでは、次第7「その他」としまして、草津栗東市民フォーラムおよびゲートキーパー養成研修会について事務局より説明をお願いいたします。

資料8に基づいて事務局より説明を行う。

〔 会 長 〕 演者の坂根先生はお話も面白いし、本もたくさん書いておられる有名な先生ですので、ぜひとも皆さん誘い合わせて来ていただければと思っております。

資料9に基づいて事務局より説明を行う。

〔 会 長 〕 それでは、最後に所属しておられる各団体におきまして、何か取り組みされていることや本日の協議に関して何か御意見ございましたら、お願いします。

〔 委 員 〕 これから私どもの学区で健康推進員さんを中心に朝ごはんの推進をやっていこうかなと計画しております。

〔 委 員 〕 今、少子高齢化といわれていますが、私の学区では多子超高齢化という両極端な学区で高齢化率が25、6%になっている地域もあります。地域力、町内力という気運が起こってしまして、地域包括システムの一つではありますがけれども、送迎が動き出して一年ほどたちました。1年間で延べ170人、病院への送迎や入所施設への面会、高齢者対策が地域で芽生えてきております。それから、孤立化防止のためのサロン活動として、健康推進員さんの協力も得て月1回のお食事会や歌声喫茶をしています。自然に囲まれた環境の中、地域サロンが活発でいい笑顔と運動と声がよく流れているような地域で、孤立化防止の一翼を担っていると思います。困っていることは夜間の診療です。在宅の先生方がいらっしやらないので、とっさの面で大変困っております。夜間は市役所も保健所も電話がつながりませんし、大変困ることがあるので、行政の方で充実させていただきたいと願っ

ております。

- [会 長] 医師会としても対応していかなければならないと思っています。
- [委 員] 大津の青山地域には済生会の訪問看護ステーションがありますが、草津にはないのでしょうか。
- [会 長] 草津にもあります。
- [委 員] 分かりました。
- [副 会 長] 薬剤師会では、電話相談に24時間対応していますので、ご活用ください。
- [委 員] 老人クラブ連合会は結成されて50年の節目の年にあたりますので、次に向けて何か展開できる年にしたいという思いで取り組んでおります。その中で平成25年度頃から「KiRiRi3事業」、「KiRiRi」といいますのは「Kusatu」の「K」、「Rouzinkurabu」の「R」、「Rengokai」の「R」、それぞれ愛(=「I」)を込めて、「KiRiRi」と言います。「KiRiRiに参加しようか」と言うと、老人会に参加しようというよりは、少しすっきりした感じになります。一番大切なことは健康づくりですので、「歌って、食べて、歩く」という3つのことをやっています。色々な歌を2時間ほど厳しい指導をしてもらいながら、正しい姿勢で歌うというのを年間12回しています。それから歩くというのは、年間8回で琵琶湖一周を目指します。ポイントポイントへ出かけて行って、そこから4から5kmぐらい歩いています。食べるというのは、年間6回、さわやか保健センターの調理室で料理教室をしています。このように、「歌って、食べて、歩く」という「KiRiRi3事業」に力を入れておまして、どこかで聞かれたら、老人クラブで面白いことをやっているとお答えいただけたらと思います。
- [委 員] 特に10代の子どもたちの健康づくりを考えたときに、適度な運動と栄養バランスの偏りのない食事はもちろんですが、ここ何年か前からスマホ等の携帯電話による人間関係のトラブルが気になっています。心の大きな悩みとなって、健康を害するだけでなく、ひどい場合には命に関わっていくような問題に発展してしまうことがある中で、スマホは便利なものですが、使い方を誤ると非常に困ったことにつながりますし、子どもたちの心のケアというところも保護者はもちろん市としても考えていくべきだろうと思います。あとは、子どもたちの睡眠が夜更かし等、アンバランスな形での睡眠になってしまっているということも気にしております。
- [委 員] 草津市では、待機児童がとても多く、新制度の中で待機児童をどう解消していくかということを経済と一緒に関心を持って取り組んでいるところです。大きなお金が必要になる事業ですので、小回りのきくものではないと考えております。子どもたちの人数が増え、保育園の中で過ごす時間が増え、お母さんも時間が少なくなり、お母さんには何も責任はないけれど

も、お母さんの責任と言われがちで、昔の子育ての悩みと今の子育ての悩みは違いますが、しんどさは今のお母さんも変わらなくて、色々なことを背負っていると思い、保護者の方への支援も頑張っているところです。保育園の先生たちは、おそらく同じような気持ちで子どもたちに保育園の現場で出会っています。私も保育と子育てと子どもが大好きでこの道にいるので、何かできることがありましたら、誘っていただいて、できることをさせていただきたいと思います。

〔 委 員 〕 草津市全体では今まで若年層の人口流入が非常に多いと言われてきましたが、それにも増して現在高齢化が進んできており、高齢化率が草津平均20.5%、我々の学区では23%をすでに超えています。そういう中でやはり健康で長生きすることは重要ではあり、これからはまちづくり協議会連合会の中でも「健康づくり」を一つのメインテーマとして取り組んでいこうと考えております。健康寿命の延伸というのはよく言われておりますが、そのために「運動」「栄養」「地域活動」の3つが要素になると聞いております。ラジオ体操やウォーキングといった身近な運動に取り組み、栄養面では健康推進員さんに成人病予防の料理教室等で、活躍していただきたいと思っていますし、健康推進員の予備軍を学区で認定しながら取り組んでいきたいと思っています。また、地域活動では、まちづくり協議会だけではなく、地域活動に熱心な方々に色々な活動にも取り組んでいただきたいと思っています。

〔 委 員 〕 国保運営協議会としては、市民の皆さんに健康な日常生活を送っていただく、財政的にも安定しますし、例えば特定健診などしっかり受けていただいて、健康に努めていただくということ、また医薬品をジェネリックに転換する率を高めて医療費の低減につながるよう努めていきたいということの2つをこれからもやっていきたいと思っています。

〔 委 員 〕 先ほどのメタボにつながると思いますが、特に30代・40代の方々に運動されている率が少ないということで、各企業さんの方でもスポーツ大会のようなものを開かれると、普段運動されてない方がそういうときに限って頑張る怪我をするということも聞いております。運動は普段からやっておかないと怪我につながることもありますので、労働者福祉協議会としましても、各企業さんを通じて、色々イベントをさせていただいております。9月27日に琵琶湖クリーンキャンペーンに参加させていただいておまして、各企業さん、ご家族、企業さんのOBと一緒に琵琶湖の各地で道路のゴミを拾い集めて市に回収していただくという形でやっておりますので、これからも続けていきたいと思っています。

〔 委 員 〕 歯科としても健康の方に貢献していきたいと思っておまして、特に食育の

料理教室を開かれるときにお願いしたいことがあります。歯科ではアゴの発達、脳への刺激、消化を助けるということで、一口30回ぐらい噛もうということを提言しておりますけれども、今の食べ物はほとんどやわらかいものが多いので、一噛み30回噛むということは難しいと思います。できれば料理教室を開く際に、30回くらい噛んで飲み込めるものを一品二品入れてもらえると、少しは貢献できるのではないかと思います。

〔 委 員 〕 色々お話を聞いた中に、健康推進員の活動と関係があるなということが色々ありましたので、近畿住みやすき No. 1 の草津に住んでいるわたしたちが健康で長生きできるように、少しでも協力できたらいいと思います。よろしくをお願いします。

〔 委 員 〕 私は5歳と3歳の子どもがおりまして、健診にも行きたいのですが、子どもを預ける先がないと行けません。託児のある歯医者さんもありますし、自覚症状があれば行かせていただきますが、自覚症状がなかったらその時間をとらないです。例えば、乳児健診に保護者は必ず来るので、その日に診る子どもさんの数を減らしてでも、保護者も診ていただけたらいいなと思います。

〔 会 長 〕 行政の方で検討をお願いします。

〔 委 員 〕 大きな問題がたくさんあって、一つ一つ連携していかなければならないと思います。今日は色々な貴重な多くの意見を聞かせていただいて、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

〔 委 員 〕 公衆衛生では、昔からずっと言われている脳梗塞、脳卒中、それから認知症といわゆる加齢、筋力低下が問題になっていて、介護の大きな要因になっています。その対策として、老人クラブさんの「KiRiRi 3事業」のようなものがより進んでいくことで、予防ができるというのはいいと感じました。

〔 副 会 長 〕 薬剤師会が一番力を入れているのは、参加型の医療にしていこうということです。草津市と協働で、「お出掛けトーク」をやっています、年に10回ほど皆さんのところへ行って、色々な話をさせていただいています。例えば糖尿病でも血圧でも薬を飲んでいて下がってるからいいと言う方が多いですが、そうではなくて薬はあくまで補助的なものなので、やっぱり自助努力をして、運動や食事の制限をして、自分で健康を守って、最後に補助で薬を使うということを分かってもらいたいと思って活動をしています。お医者さんばかりにお任せするということではなく、自分たちで守るという方向で取り組んでいきたいと考えています。我々薬局ももう少し地域に出て行って、薬の使い方や夜間の相談等をやっていきたいと思っていますので、ぜひとも御理解と御協力をお願いします。

〔 会 長 〕 それでは、以上で議事を終わらせていただきます。

〔 事 務 局 〕 本日は長時間どうもありがとうございました。貴重な御意見ありがとうございました。

【概要編集】